| 学校番号 | 3031 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 日本史探究 | 単位数 | ４単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「日本史探究」　（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 最新日本史図表（第一学習社）<br>詳録新日本史史料集成（第一学習社）<br>4 ステージノート　日本史（数研出版） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本の現在がどのような過程で形成されたのか、また、過去の類似する状況で人々がどのように行動してきたのかなどを知り考え、これからの社会を背負っていく者としての資質を磨いてほしい。
日本史探究では、長期的な視野で人類や地球を考え、いつの時代にも変わらない人間の知恵や欠点、現代社会が失ったものに着目する。多様性が尊重される社会で、現在と未来のために歴史を学び暗記による歴史ではなく、その出来事を探求し本質を知るため、授業を大切にし、流れを理解すること意識して取り組んでほしい。

## 2　学習の到達目標

【知識及び技能】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚をもたせる。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や東アジアの歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から日本史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 歴史の事象や歴史の構造に問題を見いだし、意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 | 歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 第１部　原始・古代の日本と東アジア | 1、日本文化のあけぼの<br>2、ヤマト政権の成立と古墳文化<br>3、律令国家の形成<br>4、古代国家・社会の変容 | a:原始社会がまだ貧しいがゆえに平等な社会構造であったことを理解し、その知識を身に付けている。農耕の開始によって権力者があらわれ、クニができあがってくることを理解し、その知識を身に付けている。地域に残る遺跡などの原始社会の文化の特色に関する諸資料を収集し、原始社会の様子を調べるための情報を適切に選択している。<br>また、古代国家の確立に関する史料を読み、そこから歴史的事実や社会の様子を読み取ったり図表などにまとめたりしている。古代国家が天皇を中心に成り立っていることを理解し、その知識を身に付けている。古代国家と東アジアの関係を理解し、その知識を身に付けている。奈良時代は律令制の時代であったことを理解し、その知識を身に付けている。平安時代は律令制が | 定期考査・小テスト・提出課題 | 定期考査・小テスト・提出課題 | 授業態度・発問評価・学習内容の振り返り・提出課題 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 変質し、荘園を中心とした社会になってきたことを理解し、その知識を身に付けている。<br>b:地域に残る遺跡から原始社会について考察するとともに、その成立過程や特徴を適切に表現している。古代国家が東アジアの動向と関連して成立したことを考察するとともに、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:日本の原始社会に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。古代国家としての奈良や京都、奈良時代や平安時代の文化に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第２部　中世の日本と世界 | 1、荘園公領制の成立と院生<br>2、中世の国家・社会の展開<br>3、中世の国家・社会の変容 | a:中世社会の成立に関する諸資料を収集し、そこから歴史的事実や社会の様子を読み取ったりそれらをまとめたりしている。鎌倉時代の寺社や仏像をみてその社会や文化の特徴を読み取ることができる。武士が土地の所領関係でむすびついていることを理解し、その知識を身に付けている。荘園などを武士が実力で奪いとり、力を獲得していく過程を理解し、その知識を身に付けている。東アジアの動向が日本の歴史に大きな関わりをもっていることを理解し、その知識を身に付けている。室町時代の建築物や庭園から、その社会や文化の特徴を読み取ることができる。また全国各地の城跡から戦国時代の社会や文化の特徴に関する情報を読み取ったりそれらをまとめたりしている。<br>鎌倉幕府が滅亡したあと、全国の武士や悪党が二つにわかれて戦ったことを理解し、その知識を身に付けている。室町幕府と東アジアの関係を理解し、その知識を身に付けている。守護大名の時代から下克上を経て戦国大名が出現してくることを理解し、その知識を身に付けている。村の自治がしだいに成長してくることを理解し、その知識を身に付けている。<br>b:武士の出現や武家政権の成立について、その文化や特色と関連付けながら考察し、適切に表現している。南北朝の内乱、室町時代、戦国時代のそれぞれの時代について、出来事や文化に着目しながら考察し、適切に表現している。 | 定期考査・小テスト | 定期考査・・小テスト・提出課題 | 授業態度・発問評価・学習内容の振り返り・提出課題 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | c:武士の出現や武士の生活や鎌倉時代の出来事に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。中世社会が二つの勢力にわかれ争っていることや戦国大名の出現に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 第３部　近世の日本と世界 | 1、東アジア世界の変容と天下統一<br>2、幕藩体制の成立と展開<br>3、近世の国家・社会の変容 | a:織豊政権や徳川時代に関する史料や絵巻などの諸資料を収集し、その社会や文化の特徴を読み取ったりそれらをまとめたりしている。五街道などを調べることにより、この時期に江戸と諸地域の関係がどう形成されていくかを読み取ったりそれらをまとめたりしている。 天下統一の過程が、ヨーロッパからの影響のもとでおこっていることを理解し、その知識を身に付けている。封建社会が百姓から年貢をとることによって成り立っていくことを理解し、その知識を身に付けている。幕藩制度の特徴を理解し、その知識を身に付けている。江戸幕府の貿易の特徴と禁教令の関係を理解し、その知識を身に付けている。地域に残るお墓、義民伝説や地域にあった寺子屋など江戸時代の民衆の生活に関する諸資料を収集し、その社会や文化の特徴を読み取ったりそれらをまとめたりしている。<br>幕藩制度が安定するときの特徴を理解し、その知識を身に付けている。幕藩制度の矛盾の出現の理由を理解し、その知識を身に付けている。百姓一揆・打ちこわしの背景を理解し、その知識を身に付けている。幕府の改革の失敗の理由を理解し、その知識を身に付けている。異国船の接近が幕府にもたらした影響を理解し、その知識を身に付けている。<br>b:織田信長や豊臣秀吉による天下統一の過程や、徳川家康の築いた江戸幕府のシステムの特徴について考察する。幕 | 定期考査・小テスト | 定期考査・小テスト・提出課題 | 授業態度・発問評価・学習内容の振り返り・提出課題 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 府の改革についてそれぞれの特色をおさえつつ、幕藩体制の矛盾が表面化していく過程について考察し、適切に表現している。<br>c:統一政権の成立にいたる過程、「鎖国」やキリスト教の日本への影響などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。幕藩体制がしだいに動揺していく過程や蘭学・国学の普及、民衆文化の発展などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 第４部　近現代の地域・日本と世界 | 1、開国から倒幕へ<br>2、明治維新<br>3、近代国家の形成<br>4、両大戦間の日本<br>5、十五年戦争と日本<br>6、戦後日本の形成<br>7、グローバル化のなかの現代日本 | a:浮世絵や風刺漫画などから明治維新、文明開化、自由民権運動などの様子を読み取ったりそれらをまとめたりしている。開国が与えた影響を理解し、その知識を身に付けている。討幕運動の特徴を理解し、その知識を身に付けている。新政府の政策の特徴を理解し、その知識を身に付けている。自由民権運動の内容を理解し、その知識を身に付けている。風刺漫画や雑誌・新聞などの諸資料を収集し、当時の民衆の姿を読み取ったりそれらをまとめたりしている。日清・日露戦争のそれぞれの性格と特徴を理解し、その知識を身に付けている。植民地支配の特徴と植民地からの抵抗について理解し、その知識を身に付けている。大正デモクラシーの特徴を理解し、その知識を身に付けている。地域に残る戦争遺跡を訪ねるなどして第２次世界大戦に関する諸資料を収集し、戦争の様子を調べるための情報を適切に選択している。戦争に傾斜していく経過、そして戦争がどのような性格であったかを理解し、その知識を身に付けている。戦時中の日本とアジア諸国の関係を理解し、その知識を身に付けている。新聞や雑誌・漫画から戦前と戦後の変化を読み取ることができる。様々な史料から戦後日本を世界史のなかに位置付けて考察し、その特徴を読み取ったりそれらをまとめたりしている。戦後は基本的人権の尊重・国民主権・平和主義を基本政策に出発したことを理解し、その知識を身に付けてい | 定期考査・小テスト | 定期考査・小テスト・提出課題 | 授業態度・発問評価・学習内容の振り返り・提出課題 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | る。戦後世界の動向と日本との関わりについて理解し、その知識を身に付けている。年表や新聞、雑誌を活用して現代の日本と世界の関係について調べるための情報を適切に選択している。戦後の世界と日本の変化の過程を事実にもとづいて理解し、その知識を身に付けている。２１世紀の展望をもつ。<br>b:江戸幕府が倒れていく過程や新政府がとった政策とその結果について多面的・多角的に考察し、適切に表現している。<br>c:浮世絵や風刺漫画などから明治維新、文明開化、自由民権運動などの様子を読み取ったりそれらをまとめたりしている。日本の国内事情や当時の国際関係に着目しつつ、日清、日露戦争と第１次世界大戦の経過やその結果について考察し、適切に表現している。日本国内の政治、経済の状況と世界の動向を関連付けながら、日本のおこなった戦争の性格について考察し、適切に表現している。大日本帝国憲法体制と日本国憲法体制の根本的な違い、戦後日本がアメリカとの関連を強めていくことの問題点について考察し、適切に表現している。現代日本のかかえる様々な課題について、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。<br>開国から幕府の滅亡にいたる過程、新政府の政策に関心をもち、意欲的に追究しようとしている。欧米の文化・思想が日本の文化に与えた影響、日本を取り巻く国際環境の変化などに関心をもち、意欲的に | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 追究しようとしている。日清、日露戦争とその前後のアジアや欧米諸国との関係の推移、大正デモクラシーや民衆の台頭、第１次世界大戦とその影響などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。第２次世界大戦へいたる経過とその結果、アジア近隣諸国との関係などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。戦前と異なり戦後は国民が主人公になった時代であることや、戦後の社会の変化の大きさに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。経済の発展や国際社会における日本の役割、現代日本のかかえる課題などに関心をもち、意欲的に追究しようとしている。 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度